

して大衆を共に救った。

この時、ブルジョア諸新聞は、宇垣大将故上政懐吉葬と共に平野カミは「帝室野農党」なるものを組織し政友会の別働隊たらしめんとす計画あることを報じた。このに於て平野は遂に事成らざるを悟り、自ら率ゆる全日本農民組合を引具して書記長の要職にありながら日本大衆党脱退を声明した。

初の平野陣を擁護した大衆党幹部等は周章狼狽して常在執行委員会の名の下に、平野カミ、中澤辨次郎と共に、鈴木茂三郎、黒田秀男、橋本津南雄の三名をまづ除名するにいたつた。これ実に、五月十六日のことである。

東京地方各支部有志は、即夜相合して左翼三幹部除名反対の決議を本部に提出し、更に全玉に飛越して除名反対、分裂反対の斗争を展開し、党を分裂の危機より救ひ、立憲当初の大衆への公的の履行を自らの手に放つてたゞ入ことを誓つた。かくて六月七日「分裂」は公然と日本大衆党内の左翼少數運動の敗態をとつて結成されたのである。

- (1) 従つて「分裂」に課せられた任務は、  
被除名左翼幹部の除名の取消し
- (2) 共同戦線党の防衛——分裂の危機の防衛
- (3) 単一無産政実現への具体的を巨歩としての地方政党との合同

### (2) 日帝政治斗争の激化による組織の組織であった。

(備考) この「分裂」の結果は党本部は黒謀にも批判を蒙るものとして有利な  
女以下十名のものを除名した。

成立後四月、上述の任務を忠実に遂行すべく「分裂」は、果敢に戦つた。或は全玉の  
南町村会連の選挙に或は、東京市の瓦斯地下河問題等々をひつとつて猛烈な斗争を展開  
した。

大衆党の「分裂」は孤立化政策によつて「分裂」は恰かも党外の組織たるかの政を呈し、  
政治的日帝斗争に幾多の困難をかもしたとはいへ、「分裂」の斗争は次の如き効果を収  
めることに成功したのである。

- (1) 実行を行へる党幹部に打する不信、かゝる幹部よりの大衆の離反。
- (2) 大衆除名の阻止によつて分裂の危機を防衛せること。
- (3) 地方諸政党的統一運動の促進
- (4) 社会党左翼大衆の分裂反対、戦線統一への進出に好影響を与えたこと。

だが地面、次の如き偏向が、我々の陣営内に生じたことも亦見逃してはならぬ。それは  
我々若千の戦術的誤謬に乗じて、大衆党幹部の「分裂」は孤立化政策が或る程度、効果  
した結果生れ出たところのものである。即ち「分裂」の組織が大衆党の組織と切り離され  
れ、その結果共同の日帝斗争を妨げられ、ついに、我が「分裂」の一部は新戦線立の